

キクの電照栽培における効果的な電照の長さおよび時間帯

キクの効果的な電照時間帯は、概ね暗期開始4時間後から、品種固有の限界暗期長+1時間までの範囲である。

背景・目的

- ・キクの花芽分化抑制効果の高い暗期中断の時間帯は、暗期の中心ではないことが明らかになりつつある。
- ・どの時間帯にどれくらいの長さで電照を行えば最も効果が高いかについて、夏秋ギク「岩の白扇」および秋ギク「神馬」を用いて検討を行った。

成果の内容

○ 電照の時間帯および電照の長さの試験結果を解析した結果、実用的に花芽分化抑制効果の高い電照時間帯は、秋ギク「神馬」および夏秋ギク「岩の白扇」ともに概ね暗期開始4時間後から、品種固有の限界暗期長+1時間までの範囲であると考えられる。

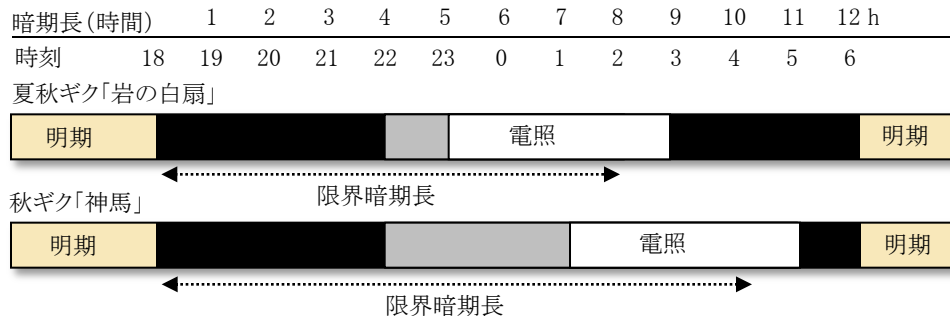


図 18時を暗期開始とした「岩の白扇」,「神馬」における電照効果の高い時間帯のモデル
図中央の灰色と白抜き部分の範囲が最も効果が高い電照時間帯, 図中央の白抜き部分は、4時間電照の場合の効果が高い時間帯を示す。

導入メリット

- ① 電照の効きが良くない品種で、電照効果の改善が期待できる。
- ② 電照時間を最適化することで、生産コストの削減が期待される。

期待される効果

従来の方法よりも電照の効きが良くなり、安定生産につながる。

普及対象・範囲
キク栽培農家